

(東日本大震災5年へ 被災地 年の瀬模様)空からも見えるかな 大川小旧校舎、鎮魂のツリー

2015年12月11日05時00分



大川小学校の旧校舎内で光るクリスマスツリー。周囲にはほとんど明かりはないが、復旧作業が続きダンプカーが行き交う＝10日午後4時30分、宮城県石巻市

東日本大震災の発生から11日で4年9カ月。津波で児童ら84人が犠牲になった宮城県石巻市の大川小学校の旧校舎で毎晩、クリスマスツリーの電飾がともっている。暗闇で光るツリーが浮かび上がる。

現地でボランティア活動が続けてきた人たちが毎年、鎮魂と慰霊のために取りつけている。その一人、東京都の会社役員の男性(57)は「クリスマスは子どもたちが楽しみにしているイベント。地域の人たちが

少しでもあたたかい気持ちになってくれるとうれしい」と話す。(加藤裕則、写真は福留庸友)

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.